

多文化共生って何？

市は、国際交流センターや関係機関などとの連携のもと、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化の違いを認め合いながら、地域で共に暮らしていくことができる多文化共生の地域づくりを推進しています。今回は、調布市と連携して外国人を支援する「国際交流センター」をご紹介します。



外国人のための暮らしのガイドブックも配布しています。

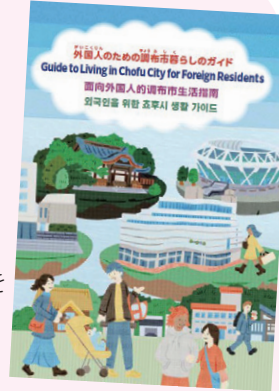


国際交流センターHP

Center for International Friendship and Amity 国際交流センター(CIFA)

国際交流センターは、地域社会の構成員として市内に住む外国人を支援するとともに、地域の多文化共生の実現に取り組んでいます。外国人が日本語を学ぶ機会を提供するほか、パーティーやバスツアーなどのイベントを開催するなど、さまざまな活動を行っています。

毎月・火・土曜日
(午前8時30分～午後5時)
水・木・金曜日
(午前8時30分～午後8時30分)
〒文化会館たづくり9階
☎042-441-6195
(日曜日、祝日、たづくり休館日を除く)



日本語を学びたい

外国人の日本語学習支援

ボランティアとマンツーマンで学べる日本語教室や、日本語の理解がむずかしい子どもに向けた教室など、子どもから大人まで日本語を学ぶことができます。

子育て中の親が日本語を学べる

だっこらっこらぶ

赤ちゃんや小さな子どもの子育てのため、家にもりがちな外国人が気軽に参加でき、日本語を学びながら仲間作りができる場です。日本の文化・年中行事や子育て情報も紹介し、外国人親子の社会参加の助けを行っています。



外国人が理解できるように丁寧に教えます。



母親が学習に集中できるようにボランティアが子どもと一緒に遊びます。



だっこらっこらぶの様子

日本語や表現などをゲームを通して学んだり、日本の文化を伝えるために毎回、工夫をこらした内容で楽しめます。



七夕の飾り付けをします。



できました！

困っている人、相談したい人

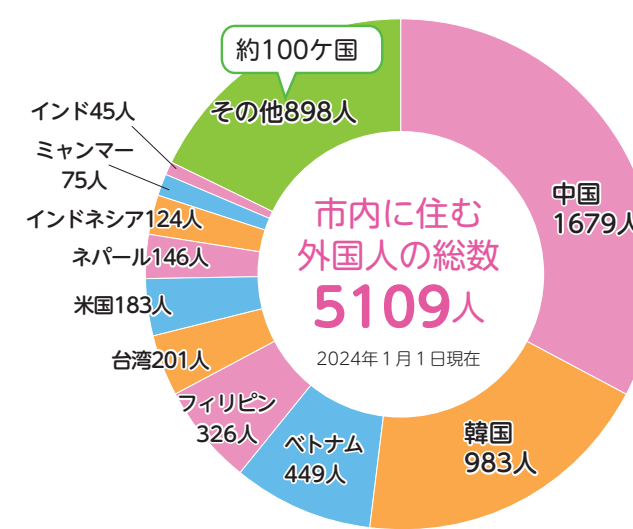
相談事業

市内で生活している外国人が地域で安心して暮らせるよう、さまざまな相談の受け付けをして、専門機関や関連団体などにつないでいます。家族や子どものことなど困ったことがある外国人の皆さんが気軽に相談できます。

さまざまな国の文化を学びたい

交流サロン

外国人と日本人が、さまざまなイベントなどを通して交流し、お互いに理解を深めるために実施しています。それぞれの文化や料理の紹介を通しての交流、さらに野外でのお花見や初詣、防災体験などを行っています。



市ホームページは「やさしい日本語」に変換できます

外国人にも伝わりやすく情報を提供するため、市公式ホームページでは、やさしい日本語化支援ツール「伝えるウェブ」を導入しています。

利用方法
市ホームページの右上にある「Foreign Language」の「やさしい日本語」をクリックすると、わかりやすい日本語に変わります。

☎広報課 042-481-7301

※やさしい日本語とは、難しい言葉を言い換えた、分かりやすい日本語のことです。

国際交流センター(CIFA)を利用している外国人の方に聞きました

ヴァンチェンツァさん (スイス出身)

ー調布市の暮らしの中で今までに驚いたこと困ったことは
妊婦が使える行政サービスの多さに驚いています。2歳の娘と一緒に日本語を勉強できるCIFAの取り組みに感謝しています。最近、私気になるのは、公園などの遊び場にごみ捨て禁止の標識があっても、タバコやごみを見つけてくれることがよくあることです。



ー困ったことがある時、誰に相談していますか
夫によく話を聞いてもらっています。子育てに関する情報が必要な時は、近くの児童館に行って相談しています。

ー日本人にどんな風に接してもらえたらうれしいですか
いつも日本人は、本当に気持ち良く接してくれます。私がスイス出身だと言うと驚きますが、スイスについて非常に興味をもってくれる方が多いです。日本語を理解できない時は、ゆっくり話してくれたり、より簡潔に話そうとしてくれるので、いつも感謝しています。



だっこらっこらぶで日本語の勉強をしています。

トアンさん(ベトナム出身)

ー調布市の暮らしの中で今までに驚いたこと困ったことは
調布は電車まで新宿まで近く、どこへでも行きやすいのでとても便利ですが、保育園と学童に入るのがとても厳しいと感じています。友だちの子どもが保育園に入れなかったため、その友だちは会社復帰できませんでしたし、私の次女が生まれた時は長女が学童に入れませんでした。



ー困ったことがある時、誰に相談していますか
まず日本人の友だちに相談し、難しいことはCIFAに相談します。特に、CIFAでは「外国人のための無料専門家相談会」を実施しています。相談会で専門家のアドバイスをしてもらえるので、とても役に立つと思います。そして、法律関係のことは市役所に行って相談しています。

ー市にどんなサポートがあったらうれしいですか
保育園に入れないと子どもは自宅にいることが多くなるため、テレビを見てしまう時間が増えてしまいます。子どもたちの成長のためには、保育園や学童での子ども同士のコミュニケーションが必要だと思います。保育園などを増やし、親が安心して仕事ができるような環境を整えてほしいです。授乳室や赤ちゃんの遊び場所も増えたら嬉しいです。



クラティラカさん(スリランカ出身)
困ったことがある時は、CIFAに相談しています。

国際交流センター(CIFA)のだっこらっこらぶのボランティアに聞きました

外国人と交流したいと考えていた時に、ホームページで見つけて始めました。外国人(学習者)が、日常生活の中で学んだことを使ったり、この場で知り合った人たちとつながっていく様子に出会うと嬉しいです。

以前、子どもの同級生の外国人が、配布されたお知らせを読めなくて困っている時に教えてあげたことをきっかけに、日本で暮らす外国人も安心して暮らせる助けをしたいと考えました。子育て中は身近に声をかけてくれる人がいると安心ですね。

言語に興味があり、日本語の学習支援がたくて子育ての合間に始めました。だっこらっこらぶの活動はとても楽しく外国人(学習者)に教えることで逆に勉強させてもらっていると感じています。



ボランティア募集

国際交流センター(CIFA)では、イベントの企画・運営や日本語ボランティアなど一緒に活動できる方を随時募集しています。
※ボランティア活動に参加するには、会員登録(年会費2000円)が必要です



見学もOK

ボランティア説明会の様子

パラハートちようふ
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち